

## Adaaran Club Rannalhi

リゾートの明かりが点々とする中を、送迎ボート揺られていた。40分ほどでリゾートのジェッティに到着し、レセプションへと続く道を歩いていく。これから3日間のリゾートライフが待っている。チェックインを済ませ、ゲストルームへと向かう。今回宿泊したのは水上コテージタイプのウォーターバンガロー。室内に入りベッドに横になると、波の音一つない静かな夜にいつしか眠りについていた。



翌日、快適な眠りのためか、かなり早い時間に目覚めてしまった。昨夜はじっくりと眺めることのできなかつたガラスのフロアーを覗いてみる。チョウチョウウオやスズメダイの仲間などが泳いでいきまるで水族館のようだ。ベランダに出ればそのまま海に入ることもできる。シュノーケリング好きにはたまらないだろう。



とりあえず腹ごしらえをするためメインレストランへ向かった。食事はすべてビュッフェスタイルだがランナリゾートはイタリア人のゲストの割合が非常に高い。そのためメニューにはイタリアンが豊富にそろっている。パスタに生ハムをぺろりと片付け、午前中に予定しているダイビングの準備に急いだ。ジェッティのすぐそばにあるダイビングセンターで受付をして、ドーニと呼ばれるダイビングボートに乗り込んだ。



ここでのダイビングスタイルは午前2ダイブ、午後2ダイブとなっている。最初に向かったのは南マーレのチャンネルポイント、途中ハシナガイルカと遭遇するなど幸先のよいスタートを切った。40分ほどでポイントに到着、ファーストダイブはココアコーナー。エントリーしてまずはドロップオフの壁をドリフトしていく。徐々に水深を下げていき30メートルの棚で待機していると出るわ出るわメジロザメからネムリブカが次々と現れた。

しばらくシャークショーを楽しむと流れに乗り、再びドロップオフの壁をドリフトしていく。流れの中でマダラトビエイ、アオウミガメ、クマザサハナムロの大群などが次々と現れた。とにかく最後までエキサイティングな1ダイブだった。

セカンドダイブはリゾートの近くにあるアドミラル3。このポイントはチャネルではないため流れはほとんどないが魚影の濃さでは引けをとらない。エントリーしてすぐツバメウオの群れに囲まれ、その脇をイソマグロが泳いでいく。



圧巻だったのはムレハタタテダイ、海底を覆いつくすかと思うほどの群れのサイズだった。あつという間の2ダイブが終了し、リゾートに戻るとレストランへ駆け込んだ。

午後のはんびりとリゾートの探索。島の周囲は白砂のビーチに囲まれリーフへと続いている。

ウォーターバンガロー以外のビーチバンガローはすべてビーチ沿いにあり、こちらも抜群のロケーション。



ヤシの木の木陰で読書にふけるカップルもいれば、リーフではしゃいでいるファミリーもいる。

素足に心地よい砂の感触を楽しんでいると、いつのまにかスタートした地点に戻っていた。

夕暮れが訪れるころ、バーではドリンクを手にするゲストが増えてきた。



日中の照りつける日差しが去り、最も心地よい時間が流れている。写真好きには夕景のリゾートは格好の被写体になる。自分のお気に入りの場所にカメラを向けるのも楽しいはずだ。一通りの撮影を終えるとディナーへ向かった。どの料理から手をつけようか迷ってしまうほど豊富な種類が並んでいる。この日はチキンをメインにいただく事にした。もちろんデザートも別腹に収まったのは言うまでもない。



翌日も午前中はダイビング。

前日の夕方までにダイビングセンターの予定表に名前を書き込んでおくシステムになっている。

この日も向かった先は南マーレのチャンネルポイント。モルディブのあらゆるポイントを潜っている現地ガイドの話では南マーレのポイントがNo.1だと話してくれた。まずはマドゥファルカンドゥ。ここもサメが非常に多いポイントだ。

オーバーハングでは巨大マダラエイと遭遇した。



その後はソフトコーラルのまわりをハナダイが乱舞する光景が続いていた。



2ダイブ目はリゾートに近いアドミラル2。ウツボを次々に見せてくれるのだが、その巨大さには驚かされた。モルディブアネモネフィッシュやアカマツカサなどじっくりフィッシュウォッチングを楽しめた。

ランチの後はシュノーケリングでハウスリーフのチェックを行った。

まず驚いたのがサンゴ非常に豊かなこと。インリーフのいたるところに枝状のサンゴが元気に育っている。まわりにはデバスズメダイが群れていて、ハウスリーフでのダイビングもかなり期待できると感じた。





その後はリゾート内にあるスパを見に行った。実はリゾートのレセプションとスパの入り口にアロマオイルが置いてあり、ゲストが自由に使えるようになっている。私はエナジーというオイルが気に入りでちよくちよく使っていた。

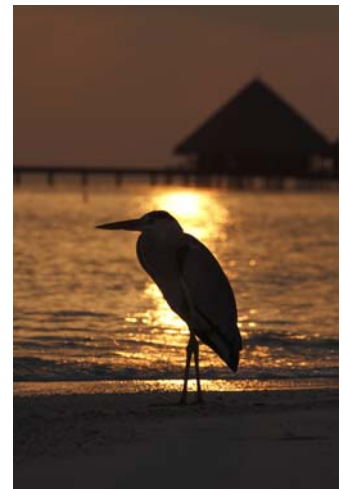
スパのメニューはアロマからタイマッサージまでバリエーションが豊富にそろっている。

心身ともに癒されたいときにはここがお勧めだ。



夕刻になるとこの日もカメラを構えてジェットティの近くに待機していた。

今日はサギがいに感じに撮影できた。



そして最後のディナーを堪能すると、ゆっくりと眠りについた。



最終日はビーチバンガローのゲストルームなどを撮影していた。



ランナリゾートでは素足がよく似合う。  
着飾っているよりも、開放的に楽しむ方がずっといい。  
ここは自然の中に溶け込んでいるようなリゾートだ。

